

教育学部言語文化専修国語分野カリキュラムマップ

養成人材	教職及び教科に関わる学問並びに芸術・スポーツ諸領域の総合的な研究及び教育を通して広く教育の発展に寄与し、主体的で豊かな人間性を基底としつつ教職に必要な専門的な知識・技能を身につけた、理論及び実践の両面にわたる力量ある質の高い教員の養成				
学位授与の方針	①専門的な深い知識の修得に関連する事柄 ○課程・コース・専修等ごとに定められた教育に関する専門的な知識・技能 ・教職に関する専門的な知識・技能 ・教科や専門分野に関する専門的な知識・技能 ②専門性のある幅広い基本的知識の修得に関連する事柄 ○教育の基盤となる基本的知識、態度、能力 ・日本国憲法に関する基本的な理解 ・心身の健康に関する基本的な理解と態度 ・人文学・社会科学・自然科学に関する幅広い理解 ・英語を用いて意思を疎通させる能力 ・情報リテラシーとプレゼンテーション能力 ③学部における人材養成の目的に合致した資質・能力の獲得に関連する事柄 ○力量のある教員に必要な知識・技能を活用できる能力 ・教科や専門分野に関する知識・技能を指導に生かすための方法的技術 ・教育実践を通じた子供理解と実践的指導力 ○教員に求められる人間性と社会性 ・教員としての使命感や責任感、教育的愛情 ・教員としての社会性や対人関係能力 ・社会貢献への強い意欲 ・学び続ける姿勢				
年次	授業科目	到達目標	教育目標 1：教育学部では、力量のある質の高い教員養成を主眼とする。	教育目標 2：教育学部では、課程専修分野ごとに専門的教育を行い、教職の専門性と学問・文化の専門性の両方を修得させる。	教育目標 3：卒業要件として教員免許の取得を必修とし、教員免許・資格の取得に必要な教育課程を編成する。
1	国語学概論	・日本語のしくみについての基本的な考え方を習得する。また、音声学的理解を深める。	◎	◎	○
1	国語史概説	・日本語の歴史についての基本的な考え方を習得する。また言語変化についての理解を深める。	◎	◎	○
1	国語学特講 A	・日本語のしくみについての基本的な考え方を習得する。	◎	◎	○
1	国語学特講 B	・日本語についての基本的な考え方を習得する。	◎	◎	○
1	漢文学特講 I	・漢文への理解を深める。	◎	◎	○
1	書道（書写） A	・硬筆を中心に、小中学校の書写実技において指導できる。	◎	◎	○
1	書道（書写） B	・硬筆と毛筆の両方にわたって、小中学校の書写実技において指導できる。	◎	◎	○
2	国文学史概説 A	・古典文学作品を中心に、各自の文学観・文学史観を構築する。	◎	◎	○
2	国文学概説 A	・日本近代文学史の諸テキストを読解し、文学史の概要を理解する。	◎	◎	○
2	古典文学特講 A	・古事記の読解を通して、日本文化・日本文学（散文）の特性について理解する。	◎	◎	○
2	近代文学特講 A	・文学理論・批評理論について理解し、応用できる。	◎	◎	○
2	漢文学特講 II A	・中国古典作品（史伝）を鑑賞し、その内容を理解する。	◎	◎	○
2	漢文学特講 II B	・中国古典作品（諸子）を鑑賞し、その内容を理解する。	◎	◎	○
2	漢文学特講 II C	・中国古典作品（漢詩）を鑑賞し、その内容を理解する。	◎	◎	○
2	漢文学特講 II D	・中国古典作品（日本漢文）を鑑賞し、その内容を理解する。	◎	◎	○
2	国語教育基礎研究 A	・国語科教材に関して、単元学習という観点から考えることができる。	◎	◎	○
3	国文学史概説 B	・風土記を通して、古代文学及び日本文学の特徴を考え、理解する。	◎	◎	○
3	国文学概説 B	・日本近代文学の特徴を理解し、作品を分析・研究できる。	◎	◎	○
3	古典文学特講 B	・万葉集の読解を通して、日本文学（韻文）の読解方法について理解する。	◎	◎	○
3	近代文学特講 B	・文学研究に関する方法論および日本近代文学史の知識を習得する。	◎	◎	○
3	国語教育基礎研究 B	・国語教育における基本的問題について自ら考える力を獲得する。	◎	◎	○
3	国語教育総合演習	・日本語学、日本文学、また、国語教育といった個別的な専門領域の研究技法を身につける。	◎	◎	○

4	論文	・日本語学、日本文学、また国語教育といった個別的な専門領域の研究を深め、学術論文にまとめる。	◎	◎	○
---	----	--	---	---	---

教育学部言語文化専修英語分野カリキュラムマップ

養成人材	教職及び教科に関わる学問並びに芸術・スポーツ諸領域の総合的な研究及び教育を通して広く教育の発展に寄与し、主体的で豊かな人間性を基盤としつつ教職に必要な専門的な知識・技能を身につけた、理論及び実践の両面にわたる力量ある質の高い教員の養成				
学位授与の方針	<p>①専門的な深い知識の修得に関連する事柄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○課程・コース・専修等ごとに定められた教育に関する専門的な知識・技能</li> <li>・教職に関する専門的な知識・技能</li> <li>・教科や専門分野に関する専門的な知識・技能</li> </ul> <p>②専門性のある幅広い基本的知識の修得に関連する事柄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育の基盤となる基本的知識、態度、能力</li> <li>・日本国憲法に関する基本的な理解</li> <li>・心身の健康に関する基本的な理解と態度</li> <li>・人文学・社会科学・自然科学に関する幅広い理解</li> <li>・英語を用いて意思を疎通させる能力</li> <li>・情報リテラシーとプレゼンテーション能力</li> </ul> <p>③学部における人材養成の目的に合致した資質・能力の獲得に関連する事柄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○力量のある教員に必要な知識・技能を活用できる能力</li> <li>・教科や専門分野に関する知識・技能を指導に生かすための方法的技術</li> <li>・教育実践を通じた子供理解と実践的指導力</li> <li>○教員に求められる人間性と社会性</li> <li>・教員としての使命感や責任感、教育的愛情</li> <li>・教員としての社会性や対人関係能力</li> <li>・社会貢献への強い意欲</li> <li>・学び続ける姿勢</li> </ul>				
年次	授業科目	到達目標	教育目標1：教育学部では、力量のある質の高い教員養成を主眼とする。	教育目標2：教育学部では、課程専修分野ごとに専門的教育を行い、教職の専門性と学問・文化の専門性の両方を修得させる。	教育目標3：卒業要件として教員免許の取得を必修とし、教員免許・資格の取得に必要な教育課程を編成する。
1	英文法概説A	・これまで学んできた英文法の知識を整理するだけでなく、体系的な拡張を行う。・英語で書かれた英文法に関する文献を正確に読み、理解したうえで説明できるようになる。・英文法の重要概念や用語について詳細に考察して理解を深める。	◎	◎	○
1	英文法概説B	・これまで学んできた英文法の知識を整理するだけでなく、体系的な拡張を行う。・英語で書かれた英文法に関する文献を正確に読み、理解したうえで説明できるようになる。・英文法の重要概念や用語について詳細に考察して理解を深める。	◎	◎	○
1	英語音声学A	・日本語話者にとって区別の難しい音を正しく発音し分け、聞き分けられるようになる。・英語として通用する発音、さらには英語として違和感のない発音を身につける。・和文および英文の音声学に関する文献を読み、英語音声の正しい知識を身につける。	◎	◎	○
1	英語音声学B	・日本語話者にとって区別の難しい音を正しく発音し分け、聞き分けられるようになる。・英語として通用する発音、さらには英語として違和感のない発音を身につける。・和文および英文の音声学に関する文献を読み、英語音声の正しい知識を身につける。	◎	◎	○
1	現代英語	・現代で使われる英語を題材にした映像を十分に理解することができる。・現代の英語の音声面でのスキル（読む・話す）の力を十分に身につける。	◎	◎	○
1	英会話 I A	・自分が関心のある身近なテーマについて英語で話すことができる。・難しい構文や語彙を使わずに英語で表現する技能を身につける。・教師として生徒にわかりやすく英語で話す力を身につける。	◎	◎	○
1	英会話 I B	・自分が関心のある身近なテーマについて英語で話すことができる。・難しい構文や語彙を使わずに英語で表現する技能を身につける。・教師として生徒にわかりやすく英語で話す力を身につける。	◎	◎	○
2	英会話 II A	・自分が関心のある社会的なテーマについて英語で話すことができる。・英会話Iよりもより英語らしい語彙を使って英語で表現する技能を身につける。・教師として生徒にわかりやすく英語で話す力を身につける。	◎	◎	○

2	英会話 II B	・自分が関心のある社会的なテーマについて英語で話すことができる。・英会話Iよりもより英語らしい語彙を使って英語で表現する技能を身につける。・教師として生徒にわかりやすく英語で話す力を身につける。	◎	◎	○
2	英作文 I A	・英文法から英作文へ?整理と拡充 ・基本的な英文法の知識をより拡充し、それを応用してパラグラフ・ライティングの基盤となる文単位での英作文を的確に行うことができるようになる。	◎	◎	○
2	英作文 I B	・パラグラフおよびエッセイの一般的構造について学習する。・文と文の結束性に関わる文法事項について理解を深める。・ある程度の長さのまとまったエッセイが書けるようにする。	◎	◎	○
2	英語文学講読 A	小説を読む。語学的な正確さと文学的な理解に基づいて、テキストを的確に訳せること。文化・社会の状況と文学作品の関係について、自分なりに考察できること。	◎	◎	○
2	英語文学講読B	小説を読む。語学的な正確さと文学的な理解に基づいて、テキストを的確に訳せること。文化・社会の状況と文学作品の関係について、自分なりにテーマを設定して考察できること。	◎	◎	○
2	英語学概論 A	・英語学の中核的分野（音韻論、形態論）について基礎的な概念を理解する。・英語指導の背景となる言語学的知識を身につける。	◎	◎	○
2	英語学概論B	・英語学の中核的分野（統語論、語用論）について基礎的な概念を理解する。・英語指導の背景となる言語学的知識を身につける。	◎	◎	○
3	英作文 II	・パラグラフおよびエッセイの一般的構造について理解することができる。・論理的な展開の文章を英語で書くことができる。・ある程度の長さのまとまったエッセイが書けるようにする。	◎	◎	○
3	英語学演習 I A	・生成文法の枠組みにより現代英語の統語論について、その基本的な考え方と具体的な分析について理解する。・とくに文構造の階層性と、文を構成している句範の性質について理解し、説明できることをめざす。	◎	◎	○
3	英語学演習 I B	・生成文法の枠組みにより現代英語の統語論について、その基本的な考え方と具体的な分析について理解する。・とくに文構造の階層性と、文を構成している句範の性質について理解し、説明できることをめざす。	◎	◎	○
3	英米文学史A	イギリス文学史（17世紀まで）を扱う。英語という文化遺産の集大成として英文学史をとらえ、歴史的な視点を持って具体的なテキストを読む姿勢を身につける。	◎	◎	○
3	英米文学史B	イギリス文学史（18世紀以降）を扱う。英語という文化遺産の集大成として英文学史をとらえ、歴史的な視点を持って具体的なテキストを読む姿勢を身につける。	◎	◎	○
3	英語文学演習 I A	19・20世紀の英語圏の小説を読む。英語の言語表現がもつ芸術性・社会性・政治性・歴史性を多角的に理解・考察する能力と教養を身につけ、自分なりのテーマを発見できる。	◎	◎	○
3	英語文学演習 I B	19・20世紀の英語圏の小説を読む。英語の言語表現がもつ芸術性・社会性・政治性・歴史性を多角的に理解・考察する能力と教養を身につけ、自分なりのテーマを論じられる。	◎	◎	○
3	応用言語学演習 I A	応用言語学の基礎的の基礎的な知識を身につける。・応用言語学的知識を実践に結び付けることができる。・応用言語学的観点から社会問題を論じることができる。	◎	◎	○
3	応用言語学演習 I B	応用言語学の基礎的の基礎的な知識を身につける。・応用言語学的知識を実践に結び付けることができる。・応用言語学的観点から社会問題を論じることができる。	◎	◎	○
3	英米事情	英字新聞を日常的に読みこなすためのスキル、および国際事情に常に精通する姿勢を身につける。世界を読むためのツールとして、メディア英語をマスターする。英語教育そのものが世界情勢の動きと連動している存在である、という認識をもつ。	◎	◎	○
3	特別研究 I A	英語学演習IA、英語文学演習IA、応用言語学演習IAから1つを選択し、それぞれの到達目標を達成することができる。	◎	◎	○
3	特別研究 I B	英語学演習IB、英語文学演習IB、応用言語学演習IBから1つを選択し、それぞれの到達目標を達成することができる。	◎	◎	○

4	英語学演習ⅡA	・英語統語法の理論的研究に関する文献に親しむ。・具体的な言語事象に関して分析装置を適用し、実践的定着をはかる。	◎	◎	○
4	英語学演習ⅡB	・学んだ分析装置を独自の課題に適用する。・自ら調べ、考えて英文法研究を行なう。・行なった研究について発表したり議論したりする。	◎	◎	○
4	英語文学演習ⅡA	・英語文学における作家、作品、背景を理解することができる。数多くの作品を読み、テーマに沿って論じることができる。作品における課題を見出し、論理的思考力で問題に迫ることができる。	◎	◎	○
4	英語文学演習ⅡB	・英語文学における作家、作品、背景を理解することができる。数多くの作品を読み、テーマに沿って論じることができる。作品における課題を見出し、論理的思考力で問題に迫ることができる。	◎	◎	○
4	応用言語学演習ⅡA	応用言語学の基礎的の基礎的な知識を身につける。・応用言語学的知識を実践に結び付けることができる。・応用言語学的観点から社会問題を論じることができる。	◎	◎	○
4	応用言語学演習ⅡB	応用言語学の基礎的の基礎的な知識を身につける。・応用言語学的知識を実践に結び付けることができる。・応用言語学的観点から社会問題を論じることができる。	◎	◎	○
4	特別研究ⅡA	英語学演習ⅡA、英語文学演習ⅡA、応用言語学演習ⅡAから1つを選択し、それぞれの到達目標を達成することができる。	◎	◎	○
4	特別研究ⅡB	英語学演習ⅡB、英語文学演習ⅡB、応用言語学演習ⅡBから1つを選択し、それぞれの到達目標を達成することができる。	◎	◎	○
4	論文	・英語学、英語文学、英語教育学のいずれからよりテーマを選び、論文を書く。・読み手が納得できるよう十分な根拠をそろえる。・論理的な展開とは何かを学び、論文に反映させる。	◎	◎	○